

事業名	中国観光・経済交流拠点活用事業費		
細事業名	中国観光・経済交流拠点活用事業費	財務コード	803801
担当部課室	観光 部 国際交流 課 国際観光振興 担当 (内線)	4421	

## 事業の概要

実施期間	始期 H20 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(委託)			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に 主に中国の現地旅行会社(上海地区及び北京地区)</td> <td>その対象をどのような状態にして 山梨県に關係する旅行商品に興味・関心が高まり、ツアー造成件数が増加している。</td> <td>結果、何に結びつけるのか 中国からの旅行者の増加</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に 主に中国の現地旅行会社(上海地区及び北京地区)	その対象をどのような状態にして 山梨県に關係する旅行商品に興味・関心が高まり、ツアー造成件数が増加している。	結果、何に結びつけるのか 中国からの旅行者の増加
だれ(何)を対象に 主に中国の現地旅行会社(上海地区及び北京地区)	その対象をどのような状態にして 山梨県に關係する旅行商品に興味・関心が高まり、ツアー造成件数が増加している。	結果、何に結びつけるのか 中国からの旅行者の増加		
事業の内容 主にH25年度	<p>現地旅行会社や行政機関等へのセールスコール、国際観光博覧会等への出展や県内自治体が中国国内で実施する観光旅行等のプロモーションへの協力などを通じた観光宣伝活動を中国国内(主に上海地区及び北京地区)で実施。</p> <p>[主な活動内容]</p> <p>観光博覧会・見本市等への出展 H25年度実績 : 北京拠点8回、上海拠点3回  旅行会社、行政機関等への訪問、セールス活動 : 北京拠点100回、上海拠点94回  旅行会社等を対象とした観光セミナー開催 8回 50名程度/回  観光物産等の取引需要等の調査・月報(随時)  メディアによる観光PR  「やまなしサポーターズ倶楽部in上海」事務局運営(上海拠点)</p>			
根拠法令等				

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	24年度	25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方				
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値					
活動指標 国際旅行博覧会等 観光物産展への 出展回数	10	10	11	11	11	目標設定の考え方 前年度実績を目標値として設定  データの出典等				
	活動指標達成率(実績値/目標値)					110.0 %				
	中国人延べ宿泊者数(人)					125,720	151,000	180,100	216,000	259,000
成果指標	成果指標達成率(実績値/目標値)					119.3 %				
決算額又は予算額(千円)	6,000	6,000		6,000	6,000	成果指標によらない成果				
うち一財額	6,000	6,000		6,000	6,000	中国のビジネス社会は人間関係によるところが大きく、委託先が有する政府機関や現地旅行会社との強い人間関係は、指標としては示されないが、観光客増加に結びつくものである。例えば、政府教育関係者への働きかけによる教育旅行の実現や「やまなしサポーターズ倶楽部in上海」事務局のネットワークを活用した旅行者の誘致など、中国からの旅行者増加に寄与している。				
所要時間(直接分)	132 時間	132 時間		132 時間	132 時間					
所要時間(間接分)	時間	時間		時間	時間					
所要時間計	132 時間	132 時間		132 時間	132 時間					
人件費コスト 単位:千円(@2,050円×所要時間)	271	271		271	271					

## これまでの事業の見直し・改善状況

H21及びH23に活動エリアを拡大。  
H20活動エリア 北京市、天津市、東北部(瀋陽市、大連市など)、山東省(青島市)、河北省  
H21活動エリア 北京市、天津市、黒竜江省、吉林省、遼寧省、上海市  
H23活動エリア 北京市、天津市、黒竜江省、吉林省、遼寧省、山東省、広東省、四川省、重慶市、雲南省、陝西省ほか沿海・中部地域の省、上海市、浙江省、江蘇省

活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率		中国人延べ宿泊者数は目標に対して達成率119%となった。また、成果指標によらない成果についても、中国のビジネス社会は人間関係によるところが大きく、委託先が有する政府機関や現地旅行会社との強い人間関係は、観光客増加に結びつくものである。例えば、政府教育局関係者への働きかけによる教育旅行の実現は、まさにこうした人間関係による成果であり、その他「やまなしサポーターズ倶楽部in上海」事務局のネットワークを活用した旅行者の誘致など、中国からの旅行者増加に寄与しており、事業は意図した成果をほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	本県を訪れる外国人観光客の中で40%強を占める中国人観光客については、今後も本県のインバウンドマーケットにおいて重要な位置を占めることが見込まれる。一方で、県内企業が中国国内で独自に活動を行えるだけの基盤はなく、リード役としての県の果たす役割は未だ大きい。さらに、地方レベルでの草の根の交流が日中友好に与える影響は非常に大きく、観光客の増加を図るためには持続的な事業展開が不可欠である。 一方、旅行スタイルが団体旅行から個人旅行へと移行する中、引き続き観光客の増加を図るためには、個人旅行者のニーズに対応することが重要であることから、事業効果を常に検証し、検証結果を活動内容に反映させる仕組みを検討する。	b

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成27年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等	「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
予算要求時に記入 予算編成後に修正等		

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

# 自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式2

所属名:国際交流課

細事業名:中国観光・経済交流拠点活用事業費

調書番号: 14

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H25 所要 時間 (h)	H26 所要 時間 (h)A	H27 所要 時間 (h)B	縮減等 B - A	具体的業務の 見直しの内容	見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等)
1 中国観光・経済 交流拠点活用 事業(上海拠点)	契約準備行為	1月～3月	10	10	10	0	なし	業務上必要なプロセスであり、最短 の所要時間で処理しているため
	契約行為(負担行為・契約事務)	4月	10	10	10	0	なし	
	契約検収	毎月	24	24	24	0	なし	
	打合せ	随時	10	10	10	0	なし	
	支出事務(前金2回、精算)	5,10月 4月	12	12	12	0	なし	
(小計)			66	66	66	0		
2 中国観光・経済 交流拠点活用 事業(北京拠点)	契約準備行為	1月～3月	10	10	10	0	なし	業務上必要なプロセスであり、最短 の所要時間で処理しているため
	契約行為(負担行為・契約事務)	4月	10	10	10	0	なし	
	契約検収	毎月	24	24	24	0	なし	
	打合せ	随時	10	10	10	0	なし	
	支出事務(前金2回、精算)	5,10月 4月	12	12	12	0	なし	
(小計)			66	66	66	0		
3						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
(小計)			0	0	0	0		
所要時間(計)			132	132	132	0		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)